

2020年度中間事業報告書

2020.4.1 — 2020.9.30



CASIO View



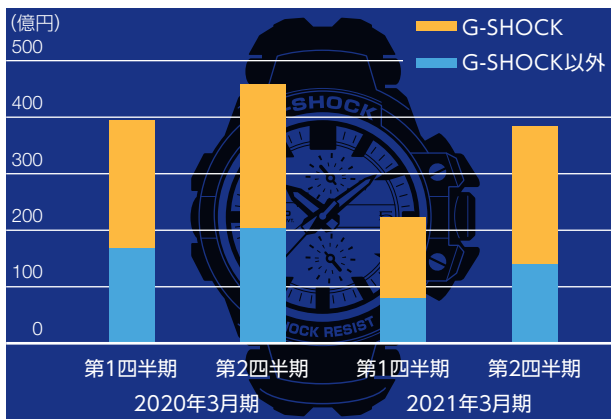
アフターコロナに持続可能な会社となるため 全社改革を着実に進めています。

代表取締役 社長 櫻尾 和宏

第2四半期連結累計期間の業績

| | | |
|----------------------|---------|-----------|
| 売上高 | 1,039億円 | 前年同期比 71% |
| 営業利益 | 42億円 | 前年同期比 25% |
| 経常利益 | 46億円 | 前年同期比 29% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 52億円 | 前年同期比 41% |

時計事業の急回復



Q 2020年度上期の業績を教えてください。

現在、まだ世界はコロナ禍の最中にあり、多くの企業が業績に影響を受けています。当社も今期は第1四半期までその影響を受けましたが、アフターコロナの市場環境の変化を見据えて以前より進めてきた各事業での施策や構造改革の効果が第2四半期から顕在化し、早いペースでの業績の回復につながりました。

特に時計事業では中国が牽引し売上が急回復しています。G-SHOCKはグローバルで第2四半期には売上高が前年同期比95%に達しました。教育関連事業でも、授業が再開された欧州では関数電卓の売上が戻ってきています。収益改善事業では早期に構造改革を完了した楽器が、巣ごもり需要もあり営業利益率9%にまで改善しました。

Q 時計事業の進捗状況は？

世界に多くのファンを持つG-SHOCKは、コロナ禍でも需要は手堅く、アフターコロナを見据えた施策の効果も出て、非常に早いペースでの回復基調にあります。特に中国ではライフスタイルの変化や消費の多様化を見据えて以前よりEC比率の拡大を進め、WEBサイトやSNSでファンと直接つながり、きめ細やかなコミュ

ニケーションをとってきました。その効果がコロナ禍を脱した同国で、顕著に表れています。

G-SHOCKのブランドを活かした新領域として発売したエクササイズ向けウォッチ「G-SQUAD」も好調です。

Q 教育関連事業の進捗状況は？

授業が再開された地域での需要回復をとらえ、GAKUHAN活動を展開しています。オンライン授業でも使えるソフトウェアの関数電卓や、数学学習ツール「ClassPad.net」を無償提供し、教育現場で使っていただき、世界的に進む教育の電子化に向かって、着実に浸透を進めています。

Q 収益改善事業の進捗状況は？

楽器は構造改革を予定より早く完遂しました。巣ごもり需要によって、楽器演奏を経験した方々が再び楽器を手にする機会が増えており、これをとらえたSlim&Smartモデルの販売拡大を進めています。

プロジェクトも、小型・高輝度の特徴を活かし、ビルなどの建物での投映に使う組み込み型などの新領域への転換を進めます。

Q 新規事業の進捗状況は？

ターゲットとして定めたドメインで、パートナーとの取り組みを着々と進めています。スポーツ・健康のドメインでは、株式会社アシックスと共同で準備しているランナー向けソリューションの概要を、2021年1月に発表する予定です。メディカルのドメインでは、当社のダーモカメラやダーモスコープが、国内の皮膚科医の10%に受け入れられています。

Q アフターコロナを見据えた取り組みの進捗状況は？

来期に一切の懸念なくスタートするための改革は、着実に進ん

でいます。

社員がより創造的に働くための仕組みづくりも行っています。働く場所を選べる在宅勤務や、勤務時間帯を選べる時差出勤を導入しました。創造的なオフィスの在り方を社員が議論するプロジェクトもスタートしました。創造的な風土づくりのために経営と社員が会社の未来について対話する活動も始めています。

株主様とのコミュニケーションにも積極的に取り組みます。6月に開催した株主総会は、ご自宅でもご覧いただけるようオンライン配信いたしました。個人投資家向けのオンライン説明会も視野に入れています。ステークホルダーの皆様との対話により、経営をより良くしてまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は業績に連動した株主還元という方針のもと、経営体質の強化を確実に進めます。安定配当を基本としており、今回の中間配当額は22円50銭の据え置きといたします。

これまでの実績で築いた強固な財務基盤のもと、アフターコロナに向けての改革は着実に進んでいます。今後も株主の皆様のご期待に沿えるよう、経営の革新に全力を尽くしてまいります。

配当金の推移



オフラインとオンラインを併用した施策と 新たな価値の提供で“G-SHOCK”が好調

中国における“G-SHOCK”ファンの拡大

中国では天猫・京東以外の新興ECの台頭も想定し、消費者と複数のタッチポイントでコミュニケーションできるように、若者やビジネスパーソン、女性などターゲットに合わせて、オフライン/オンラインの双方での施策をいち早く展開しています。オフラインでは、主要モール店頭での小規模イベントを夏場の繁忙期に集中的に数多く実施することで、実店舗での売上を大幅に回復させたほか、オンラインでは動画投稿参加型イベントの開催や番組型生中継での新製品発表などを行い、EC販売も順調に拡大。9月6日に行われた京東スーパーブランドデイではこう



京東スーパーブランドデイ

した取り組みが奏功し、時計カテゴリ内では歴代1位となる約4.7億円の売上を達成しました。コロナ禍においても、2020年度上期の中国での時計の売上は対前年比120%となっており、こうした成功事例を他のエリアにも横展開してまいります。

日本におけるオフライン/オンラインの施策の展開

日本では、“G-SHOCK”とグローバルパートナーシップ契約を結んでいる米プロバスケットボールNBAプレイヤーの八村塁選手がデザインを監修したシグネチャーモデル「GST-B100RH」を8月8日に発売しましたが、その販売においては店舗とオンラインを融合させたコミュニケーションを実施しました。

店舗では、渋谷のG-SHOCK STOREに八村選手の等身大パネルやユニホームなどを展示した特設コーナーを設置しました。一方、オンラインではPR動画や八村選手へのインタビュー映像を、SNSを中心に配信するなど、コラボレーションをきっかけとした新規ユーザー獲得を積極的に展開しました。



GST-B100RH

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市場環境が大きく変化する中、今後はユーザーと直接つながる場所・機会がより大事になってきます。当社では、既に新しい市場環境に適応した取り組みを“G-SHOCK”を中心に進めており、オフライン/オンラインを融合させたユーザーコミュニケーションの強化、若者など従来からのコアターゲットの取り込みや新規ユーザー獲得に向けた新製品の投入など、新たな成長戦略を展開しています。



GA-2100



MTG-B1000XBD



GBD-H1000

ターゲットに合わせた新製品の開発

こうしたユーザーコミュニケーションの施策に加え、さらなる“G-SHOCK”ファンの拡大につながるような製品開発も進めています。

1983年発売の“G-SHOCK”初号機の八角形フォルムのデザイン要素を受け継いだ「GA-2100」は、若者の人気を非常に集めています。2019年8月の発売以来、継続的に売れ続け、その人気ぶりは“G-SHOCK”のコンセプトが今も若者の心をとらえ、ファンが増え続けていることを象徴しています。

また、ユーザー層は若者だけでなく大人世代にも拡大し、スーツスタイルに合うモデルもヒットしています。特にメタルの質感を活かしながら、カーボンを素材に採用し軽量化を実現した「MTG-B1000」は、主に30～50歳

代のビジネスパーソンを中心に愛用されています。

こうした中で新たな方向性を示したのが、心拍計とGPS機能を搭載し健康チェックやトレーニングに最適な“G-SQUAD”「GBD-H1000」です。専用アプリと連携し、心肺能力の指標を時計上で表示するほか、アプリ上では消費カロリーや移動軌跡といった計測データの履歴を管理することができます。

コロナ禍での健康志向の高まりを背景に、デザイン性が高く、健康管理もできることから、“G-SHOCK”ファンの指名買いに加え、健康志向の高い新規ユーザーの取り込みにも寄与しています。

当社では製品開発に加え、DX(デジタルトランスフォーメーション)を通じて、オフラインとオンラインの両輪によるコミュニケーション展開を行い、今後も“G-SHOCK”ファンの拡大を強く進めてまいります。

新戦略で需要の掘り起こしに成功 その後の巣ごもり需要でさらに拡大



楽器BU 戦略部長
松田貴生

当社は1980年から楽器ビジネスを展開し、今年40周年を迎えました。これまで電子ピアノと電子キーボードを両輪に、新たな需要を創出してきましたが、昨年、従来とは一線を画す新製品を発売し、世界的に好調な売れ行きを見せています。その中でも日本でとりわけ好調な“Privia(プリヴィア)”「PX-S1000」による新規ユーザーの獲得について、楽器BU 戦略部長の松田貴生に聞きました。

現代のコンパクトピアノの あるべき姿を追求

当社は初代“Privia”「PX-100」を2003年に発売し、コンパクトピアノという新ジャンルを築き、ピアノ市場を大きく広げましたが、その後は他社も競合製品を発売してきたことで大きな違いを出せていませんでした。そこで、改めて“Privia”の強みを打ち出すべく、一人に一台、自分の部屋に置いて楽しめる“Private Piano”という原点に立ち返りつつ、現代のコンパクトピアノのあるべき姿を追求したのが2019年発売の「PX-S1000」です。さま

ざまな住宅環境でもマッチする奥行232mmのスリムサイズを実現しながら、上質な鍵盤タッチと本格的な音色を備えています。また、ボタンのないスタイリッシュなデザインを追求し、世界3大デザイン賞の一つである「レッド・ドット・デザイン賞」のプロダクトデザイン部門を受賞するなど、デザイン性も高く評価されています。

現代のライフスタイルに合わせた「PX-S1000」は、発売以後、多くの方にご好評いただいておりますが、最近では、コロナ禍による巣ごもり需要を受け、家の中で過ごす時間を活用するためにピアノを始める方や、以前ピアノを弾いていて改めて弾いてみたいという方など新たなユーザーの獲得に成功しています。

インテリアを意識した売り場



CT-S200



ローカルにオンライン施策にも注力しています。著名なミュージシャンによるオンラインコンサートで「PX-S1000」の音のクオリティを伝える一方、先生方によるオンラインレッスンの開催やアーティストなどによるライブ配信における視聴者からの質問に回答するといった双方向のコミュニケーションも行っています。さらにAR(拡張現実)を利用して、「PX-S1000」を自宅に置いたときにサイズや色などがマッチしているのかをスマートフォンなどで確認できるサービスも提供しています。

楽器事業は昨年まで厳しい状況でしたが、年々改善を続けてきました。その一翼を担っているのが「PX-S1000」や、手軽に持ち運べる軽量・コンパクトサイズの電子キーボード“Casiotone”「CT-S200」です。これらの

製品を軸に、楽器とともに暮らすライフスタイルの提案を加速させることで、音楽人口の拡大、楽器事業の成長を図ってまいります。

スマホで簡単！部屋置きAR体験！



設置したい場所をカメラに写し、画面をゆっくり動かすと製品が表示されます。



reddot winner 2020

好調を支えた施策と今後の展開

お客様がピアノのある生活を具体的にイメージできるように日本では店舗にご協力いただいて売り場を作り、テーブルに花や小物を添え、そこに「PX-S1000」を置くという今までにない展示方法でお客様に魅力を伝えることができました。海外は店舗事情が異なりますが、アセアン地域では同様の展示を行い、販売を促進しています。

また、世界的には未だに外出ができない国も多く、グ

時計事業

MAIN PRODUCT



Gショック
G-SHOCK
GWF-A1000

アナログ表示を
初めて採用した
ダイバーズシリーズ
“FROGMAN”

6月19日
発売

潜水時間を量的に把握したいダイバーのニーズに応え、アナログ表示を初採用。スマートフォンとの連携機能で、自動時刻修正のほか、潜水ポイントや潜水時間をアプリに記録可能です。

MAIN PRODUCT



オシアナス
OCEANUS
OCW-P2000

エレガントな
ダイバーズウォッチ
“OCEANUS
CACHALOT”

6月30日
発売

“OCEANUS”で初めてISO規格200m潜水用防水性能を実現。ツートーンの美しいサファイアレジスターリングを搭載し、スポーティさとエレガント・機能美の両立を追求しています。

TOPICS
1

“G-SHOCK”アンテナショップを 渋谷「RAYARD MIYASHITA PARK」にオープン

“G-SHOCK”のアンテナショップ『G-SHOCK STORE SHIBUYA』は、渋谷の新たなランドマーク「MIYASHITA PARK」内の商業施設「RAYARD MIYASHITA PARK」に7月28日にオープンしました。モルタルカラーを基調とした明るい店内の壁面には、“G-SHOCK”周年ロゴのデザインやコラボレーションモデルで関係の深いグラフィックアーティスト、エリック・ヘイズ氏によるオリジナルのハンドペイントアートを展示。メンテナンスブースを併設しており、電池交換等にサービス専任者が対応します。



教育関数事業

TOPICS
1

オンライン教育に役立つ数学学習ツール『ClassPad.net』を無料公開

WEBブラウザ上でグラフの描画や作図が簡単にできる『ClassPad.net』を国内で6月9日に提供を開始しました。電子黒板を使用した対面の授業だけでなく、TV会議用ツールと併用することで、オンライン授業の黒板代わりにも活用できます。今後も、GIGAスクール構想による教育のICT化に向けて、新たに生まれる「学校用のツール・ソフト市場」での『ClassPad.net』の浸透を目指します。

TOPICS
2

山形カシオで関数電卓の自動組立ラインが稼働

国内生産拠点の山形カシオは、関数電卓を自動で組み立てる生産ラインを9月上旬より量産稼働しました。従来、関数電卓は海外の自社工場で生産しており、タイ工場の組立ラインでは50%の作業工数が自動化されています。今回、山形カシオに新設した自動組立ラインは、本体を組み立てる工程の自動化率を高めたほか、その前工程となる基板の組み立てや後工程の梱包作業についても自動化を実現。80%の自動化率を達成しました。



収益改善事業

MAIN PRODUCT



ラテコ
Lateco
EC-P10

9月4日
発売

環境に配慮した
ラベルライターのPC・
スマホ接続対応モデル

減プラ・低コスト・効率化を実現したラベルライター“Lateco”の、PC・スマホ接続対応モデル。使い慣れたPC・スマホを使ってラベルを作成できます。新たに24mm幅テープにも対応しました。

MAIN PRODUCT



ハンディターミナル
IT-G600

7月発売

機能拡張が可能な
ハンディターミナルの
フラッグシップ

Android™ 9を搭載。大画面と操作性を両立したほか、高性能CPUや大容量メモリを備え、快適に動作できます。拡張インターフェースにより機能追加を図ることも可能なフラッグシップモデルです。

TOPICS
1

「カシオトーン 201」が 国立科学博物館の未来技術遺産に登録

「カシオトーン 201」は、「全ての人に音楽を奏でる喜びを」という思いから開発されました。独自の発音システムにより、自然で味わいのある音色を奏でられるほか、シンプルなインターフェースやコンパクトサイズを実現。当時、楽器に触れる機会がなかった方でも手軽にさまざまな美しい音色を楽しめる電子楽器として、多くの方に楽器演奏の機会を提供し、市場に大きな影響を与えたことが評価され、登録に至りました。



その他

TOPICS
1

新型コロナウイルス 感染症対策に対する 支援を実施

新型コロナウイルス感染症の早期終息と社会経済活動の回復に向けて、「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」への参画、医療現場への支援金寄付などを行いました。

TOPICS
2

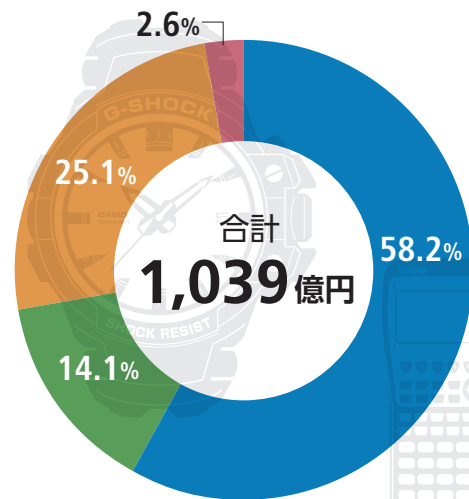
コーセーと共同開発した ネイルプリンターを店舗で実証実験中

コーセーのコンセプトストア『Maison KOSÉ』、ヘアサロン『アリエイナ』、コスメショップ『コスメテリア』等で実証実験を展開。手軽な高精細デザインの印刷が好評です。

TOPICS
3

経産省と東証の『DX注目企業2020』に選定

経済産業省と東京証券取引所が実施した「DX銘柄2020」において、『DX注目企業2020』に選定されました。これは、デジタル技術でビジネスモデルを改革し、新たな成長や競争力強化につなげるデジタルトランスフォーメーション促進のために行われています。当社は主力のG-SHOCKのスマート化や教育事業のアプリ・オンライン授業支援などに加え、新規事業やサービス、新たな仕組みへの取り組みが評価されました。



売上高の事業別構成比

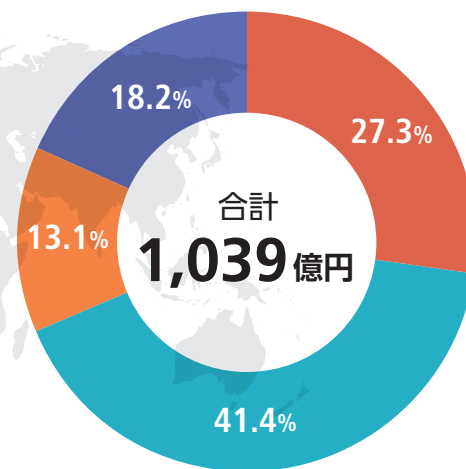
- 時計事業 605億円
- 教育関数事業 146億円
- 収益改善事業* 261億円
- 新規事業・その他 27億円

*電子辞書、楽器、プロジェクター、その他システム等

売上高の地域別構成比

- 日本 284億円 (前年同期比 66.8%)
- アジア・その他 430億円 (前年同期比 70.8%)
- 北米 136億円 (前年同期比 75.5%)
- 欧州 190億円 (前年同期比 76.9%)

※単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計は一致しません。



2020年度通期業績見通し (連結)

| | | | | | |
|------|---------|-----------|-----------------|------|-----------|
| 売上高 | 2,200億円 | 前期比 78.4% | 経常利益 | 90億円 | 前期比 31.6% |
| 営業利益 | 100億円 | 前期比 34.4% | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 65億円 | 前期比 37.0% |

要約貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 連結会計期間 | 前連結会計年度 |
|-------------|------------------|--------------|
| | 2020年9月30日現在 | 2020年3月31日現在 |
| 流動資産 | 220,856 | 227,386 |
| 固定資産 | 104,566 | 106,714 |
| 有形固定資産 | 58,630 | 59,580 |
| 無形固定資産 | 8,286 | 8,459 |
| 投資その他の資産 | 37,650 | 38,675 |
| 資産合計 | 325,422 | 334,100 |
| 流動負債 | 79,454 | 87,068 |
| 固定負債 | 44,440 | 44,493 |
| 負債合計 | 123,894 | 131,561 |
| 株主資本 | 206,943 | 207,106 |
| その他の包括利益累計額 | △5,415 | △4,567 |
| 純資産合計 | 201,528 | 202,539 |
| 負債純資産合計 | 325,422 | 334,100 |

要約損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 連結累計期間 | 前第2四半期 連結累計期間 |
|------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2020年4月1日から 2020年9月30日まで | 2019年4月1日から 2019年9月30日まで |
| 売上高 | 103,863 | 145,751 |
| 営業利益 | 4,212 | 16,662 |
| 経常利益 | 4,568 | 15,713 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,222 | 12,731 |

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 連結累計期間 | 前第2四半期 連結累計期間 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2020年4月1日から 2020年9月30日まで | 2019年4月1日から 2019年9月30日まで |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 7,040 | 16,492 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △1,415 | 428 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △6,433 | △18,313 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 134,129 | 125,764 |

四半期末財務指標

| | 当第2四半期 連結累計期間 | 前第2四半期 連結累計期間 |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2020年4月1日から 2020年9月30日まで | 2019年4月1日から 2019年9月30日まで |
| 財政状態 | | |
| 自己資本比率 (%) | 61.9 | 61.1 |
| D/E レシオ* (倍) | 0.31 | 0.30 |
| その他 | | |
| 設備投資額 (百万円) | 1,703 | 2,384 |
| 減価償却費 (百万円) | 2,442 | 2,517 |

財政状態

| | | |
|--------------|------|------|
| 自己資本比率 (%) | 61.9 | 61.1 |
| D/E レシオ* (倍) | 0.31 | 0.30 |

その他

| | | |
|-------------|-------|-------|
| 設備投資額 (百万円) | 1,703 | 2,384 |
| 減価償却費 (百万円) | 2,442 | 2,517 |

※ D/Eレシオ=期末有利子負債/期末自己資本

5年分の財務情報はホームページでご覧いただけます



<https://www.casio.co.jp/ir/>

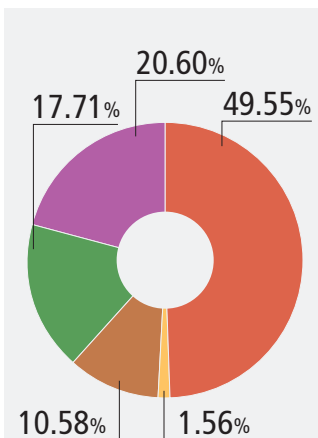
株式の状況 (2020年9月30日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 471,693,000株 |
| 発行済株式の総数 | 259,020,914株 |
| 株主数 | 31,065名 |

所有状況

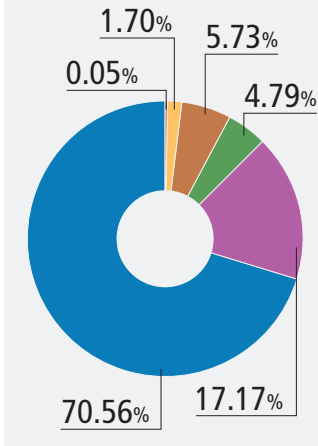
所有者別内訳

| | |
|--------|------------------------------|
| 金融機関 | 128,360,419株 (株主数 61名) |
| 証券会社 | 4,030,638株 (株主数 38名) |
| その他の法人 | 27,396,813株 (株主数 269名) |
| 外国法人等 | 45,882,665株 (株主数 603名) |
| 個人・その他 | 53,350,379株 (株主数 30,094名) |



所有株式数別内訳

| | |
|---------|-----------------------------|
| 百株未満 | 138,271株 (株主数 3,698名) |
| 百株以上 | 4,407,103株 (株主数 19,179名) |
| 1千株以上 | 14,842,274株 (株主数 7,545名) |
| 1万株以上 | 12,398,626株 (株主数 468名) |
| 10万株以上 | 44,466,727株 (株主数 137名) |
| 100万株以上 | 182,767,913株 (株主数 38名) |

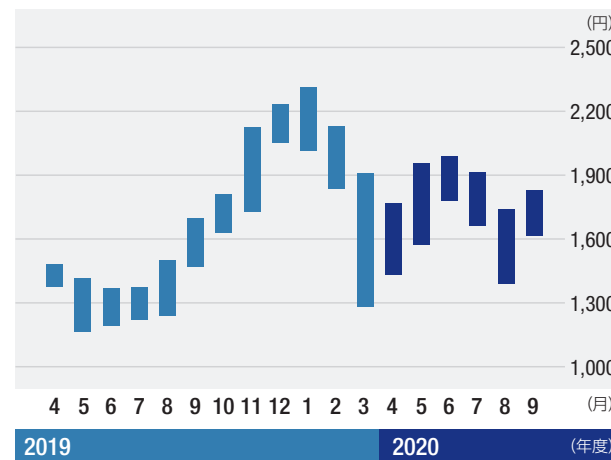


大株主 (2020年9月30日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率 (%) |
|--|---------|----------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 36,052 | 14.86 |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口) | 17,837 | 7.35 |
| 日本生命保険相互会社 | 12,985 | 5.35 |
| 有限会社カシオプロス | 10,000 | 4.12 |
| 株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口) | 7,000 | 2.89 |
| 株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口) | 6,365 | 2.62 |
| GOLDMAN SACHS & CO. REG | 6,193 | 2.55 |
| 株式会社三井住友銀行 | 5,750 | 2.37 |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口7) | 4,682 | 1.93 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 4,097 | 1.69 |

(注1) 持株比率は自己株式(株主名簿上の株式数16,415,279株)を控除して計算しております。また、自己株式は上記大株主からは除外しております。
 (注2) 株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)の持株数6,365千株は、株式会社三井住友銀行が議決権行使の指図権を留保しております。
 (注3) 株式会社日本カストディ銀行は、2020年7月27日に日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・JTCホールディングス株式会社及び資産管理サービス信託銀行株式会社が合併し、商号を変更したものです。

株価の推移



会社概要

2020年9月30日現在

| | |
|------|--|
| 商号 | カシオ計算機株式会社 |
| 英文商号 | CASIO COMPUTER CO., LTD. |
| 本社 | 東京都渋谷区本町一丁目6番2号 TEL：03-5334-4111 (代表) |

| | |
|-------|-----------------|
| 設立年月日 | 1957(昭和32)年6月1日 |
| 資本金 | 48,592,025,877円 |
| 従業員数 | 10,725名(連結) |

役員

2020年11月1日現在


〈取締役〉

| | |
|---------------|----------------|
| 代表取締役 | 榎尾 和宏 (執行役員兼務) |
| 取締役 | 山岸 俊之 (執行役員兼務) |
| | 高野 晋 (執行役員兼務) |
| | 榎尾 哲雄 (執行役員兼務) |
| 社外取締役 | 尾崎 元規 |
| 取締役 監査等委員(常勤) | 内山 知之 |
| 社外取締役 監査等委員 | 千葉 通子 |
| | 阿部 博友 |

〈執行役員〉

| | |
|--------|-------|
| 社長 | 榎尾 和宏 |
| 専務執行役員 | 増田 裕一 |
| 常務執行役員 | 榎尾 隆司 |

| | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 執行役員 | 山岸 俊之 | 中山 仁 | 田村 誠治 | 鳴瀧 康正 |
| | 高野 晋 | 守屋 孝司 | 加藤 朋生 | 田中 徹 |
| | 榎尾 哲雄 | 稻田 能之 | 河合 哲哉 | |
| | 伊東 重典 | 井口 敏之 | 青鹿 行男 | |
| | 持永 信之 | 太田 伸司 | 篠田 豊可 | |

| | |
|-------------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先) | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) (ホームページ) |  0120-782-031 (受付時間 平日午前9時～午後5時) https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告の方法 | 電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 https://www.casio.co.jp/ir/announce/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 |

株式に関する住所変更等の お届出及びご照会について

株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡をお願いいたします。

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

本報告書に関するお問い合わせ先

カシオ計算機株式会社
ESG・総務部
TEL : 03-5334-4836

皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952

いいかば

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた
携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する[e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 お問い合わせはメールにてお願いいたします。 MAIL : info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C013080


Printing. Naturally.